

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

耀くいなか 和田村

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県、和田村

3 地域再生計画の区域

長野県小県郡和田村の区域の一部（松沢地区）

4 地域再生計画の目標

和田村は、長野県のほぼ中央に位置し、人口約 2,500 人、面積 87.81 k m²、林野面積 80.86 k m²と全体の 92%余を山林が占め、村中央部を流れる依田川沿いの標高 690 mから 1,230mに住家が点在する峡谷山村である。

村の基幹産業は農林業であり、農業は第 2 次兼業農家が主流を占め、水稻、花卉、野菜が主力で、林業については、当地域はカラマツの主生産地の一画となっている。

観光では、信州の高原を代表する「美ヶ原高原」、古代縄文人たちが石器として利用した「黒耀石」の全国有数の産地「和田峠」、江戸時代、中山道の宿場町として賑わいをみせた「和田宿本陣」など数々の史跡があり、美しく豊かな自然と古い歴史を有した村である。

当村松沢地区は、村道松沢線沿線におよそ 45ha の農用地を有し、また終点より林道松沢線に接続され 370ha の山林が広がる、当村では比較的大規模な農林業地帯となっている。

現在、当地区と集落を結ぶ村道松沢線は幅員が狭く農繁期、林業最盛期の交互通行に支障をきたしており、大型の農作業機械の通行が困難なことから、農作業受委託、及び農地利用集積の促進が図れず、農林業の後継者不足・従事者の高齢化により遊休荒廃農地、荒廃山林の増加が深刻な問題となっている。

また、林道松沢線については、道路法面の崩落により通行が困難な状況にあり、間伐遅延森林の解消を図るためにも至急の改修が必要な状況にある。

この為、農林業地帯と集落を結ぶ村道松沢線を拡幅改良することにより、農地及び林道へのスムーズな通行を確保し、大型農作業機械の通行を容易にすることで農作業受委託、農地利用集積の促進を図り、遊休荒廃農地の増加を食止め、新規認定農業者の育成・確保を図る。

また、村道松沢線は、国有松沢林道の併用林道に指定されており、道路改良工事の実施により利便性の向上が期待でき、併せて林道松沢線の法面改修を行なう事により、間伐作業の行ない易い環境を整備し健全な森林の保全を図る。

これにより、農林業の振興を図り新規認定農業者等若者の職を確保し、活気あるまちづくりを推進し、「耀くいなか 和田村」を目指す。

目標 1 農作業受委託面積の増加 0.6ha 1.6ha

目標 2 農地利用集積の増加 0ha 2.3ha

目標 3 目標 1 及び目標 2 の効果による新規認定農業者の育成 19 人 21 人

目標 4 林道改修 5 年経過の間伐実施面積の増加 80ha 100ha

5 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

平成 17 年度から 19 年度にかけて、村道松沢線を拡幅改良し、また、その終点から接続する林道松沢線を平成 17・18 年度にかけて整備。

両路線の一体整備により、和田村松沢地区の活性を図る。

(参考) 村道松沢線 昭和 62 年 3 月 11 日認定

5 - 2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

[施設の種類(事業区域) 実業主体]

- ・ 村道(和田村) 和田村
- ・ 林道(和田村) 長野県、和田村

[事業期間]

- ・ 村道(平成 17~19 年度) 林道(平成 17~18 年度)

[整備量及び事業費]

- ・ 整備量 村道 L=1400m、林道 L=130m
- ・ 事業費 316,000 千円(うち交付金 154,512 千円)
村道 300,000 千円(うち交付金 150,000 千円)
林道 15,360 千円(うち交付金 4,608 千円)

5 - 3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

認定の日から平成20年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後、当計画において掲げた目標の達成について調査を行ない、評価検討を行なう。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし